

NIIGATA アートリンク 2021

各館開催講座のご案内

※各館とも新型コロナウイルス対策を講じております。
最新情報は各館HPやお電話にてご確認ください。

新潟県立、新潟市立の美術館4館の学芸員が講師を務める講座一覧です。
「美術に関する知識を深めたい」「作品や作家のことをよく知りたい！」
と思ったら、お気軽にご参加ください。

全講座
聴講無料！

新潟県立近代美術館

TEL 0258-28-4111
長岡市千秋3丁目278-14
<https://kinbi.pref.niigata.lg.jp/>

新潟県立万代島美術館

TEL 025-290-6655
新潟市中央区万代島5-1
朱鷺メッセ内 万代島ビル5階
<https://banbi.pref.niigata.lg.jp/>

新潟市美術館

TEL 025-223-1622
新潟市中央区西大畑町5191-9
<http://www.ncam.jp/>

新潟市新津美術館

TEL 0250-25-1300
新潟市秋葉区蒲ヶ沢109-1
<http://www.city.niigata.lg.jp/nam/>

開催日時	講座名／講師	講座内容	会場、申込、定員など
8月21日(土)	フィンレイソン ～歴史とデザイン～	北欧フィンランド最古のテキスタイルブランド「フィンレイソン」は、2020年に創業200周年を迎えました。北欧の自然や多彩な文化に着想を得たデザインの魅力をご紹介します。	新潟市新津美術館 1階レクチャールーム
			14:00～15:30 齋藤 未希 (新潟市新津美術館 学芸員)
9月18日(土)	海の美術史 ～海はなぜ描かれたのか	現在もキャンパスの規格にその名を残す「海景画」。海を描くのはいつ、どうして始まったのでしょうか？ヨーロッパにおいて風景画と並行して成立した歴史的な事情とその展開を、旅するようにご紹介します。	新潟市美術館 2階講堂
			14:00～15:30 荒井 直美 (新潟市美術館 学芸員)
10月16日(土)	夕映えの色彩論 ゴッホ、ゲーテ、アートセラピー	なぜ私たちは夕映えを見ると心が癒されるのでしょうか。西洋絵画にも夕映えを描いた名作はたくさんあります。クロード・ロラン、モネなど…。ここではゴッホの《夕陽と種を蒔く人》に焦点を当てながら、ゲーテの色彩論やアートセラピーにも触れたいと思います。	新潟市新津美術館 1階レクチャールーム
			14:00～15:30 小林 一吉 (新潟市新津美術館 学芸員)
10月17日(日)	福富太郎が愛したコレクション	昭和の「キャバレー王」として知られた福富太郎は、稀代のコレクターとして「福富太郎コレクション」を築いた人物です。自らの眼で作家と作品に向き合い、調査研究を深めながら蒐集に傾けたその情熱と執念を、エピソードとともにをご紹介します。	新潟県立万代島美術館 美術館ロビー
			14:00～15:00 澤田 佳三 (新潟県立万代島美術館 学芸員)
10月30日(土)	セメント彫刻のいろいろ～石油採掘工夫像から抽象まで～	新潟市秋葉区小口に残る《石油採掘工夫像》は、戦時下に各地で制作されたセメント製の屋外彫刻です。セメント彫刻はブロンズよりも安価に、素早く制作でき、この素材ならではの表現も模索されました。戦前・戦後のセメント彫刻の面白さをご紹介します。	新潟市新津美術館 1階レクチャールーム
			14:00～15:30 藤井 素彦 (新潟市新津美術館 学芸員)
11月27日(土)	"語る絵"の手法	美術作品は、私たちに様々な方法でメッセージを伝えてくれます。画家たちが、私たちにどんな手法で何を語ってくれるのか、コレクション展「ものがたり」をめぐっての出品作を中心にひもときます。	新潟県立近代美術館 講堂
			14:00～15:30 宮下 東子 (新潟県立近代美術館 学芸員)
12月4日(土)	サクロ・モンテ～キリストの受難をたどる物語	15～16世紀にかけての西洋では、イタリア語でサクロ・モンテ（山上の聖地）とよばれるキリストの受難を辿るための宗教施設が建設され、一大ムーブメントとなりました。本講座では主にキリスト教の聖地に関する絵画・彫刻・建築を巡ります。	新潟市美術館 2階講堂
			14:00～15:30 児矢野 あゆみ (新潟市美術館 学芸員)
12月18日(土)	香月泰男 家族のための創作	代表作「シベリア・シリーズ」など、モノクロームの重厚な表現で知られる香月泰男ですが、家族のための創作物には色彩とユーモアが溢れています。戦地から送った水彩画入り葉書や、身近な廃材で作った「おもちゃ」など、画家のもうひとつの魅力をご紹介します。	新潟市美術館 2階講堂
			14:00～15:30 上池 仁子 (新潟市美術館 学芸員)

	開催日時	講座名／講師	講座内容	会場、申込、定員など
近代美	1月22日(土)	羽下修三（大化）とその時代	2021年で生誕130年を迎えた彫刻家、羽下修三（大化）（はが・しゅうぞう／1891-1975）の特集展示に関連して、羽下の作品や活躍した時代について紹介します。	新潟県立近代美術館 講堂
	14:00～15:30	伊澤 朋美（新潟県立近代美術館 学芸員）		要事前申込・先着順/35名
新津美	1月29日(土)	秋葉区ゆかりの阿部展也	幼少期を小須戸の母方の実家に預けられて育った阿部展也（あべ・のぶや／1913-1971）は、正真正銘の「秋葉区ゆかりの作家」です。小須戸時代の様子を出発点に、やがて世界へと雄飛した阿部の生涯をたどります。	新潟市新津美術館 1階レクチャールーム
	14:00～15:30	松沢 寿重（新潟市新津美術館 館長）		申込不要/35名
近代美	2月5日(土)	品川工の作品を見る —オモテとウラ、ヒナタとヒカゲ、マコトとウソ—	柏崎出身の版画家・造形家、品川工（しながわ・たくみ／1908-2009）。視覚を遊んだちょっと不思議で親しみある作品を改めて見直し、身近な発想の中にある美術を楽しんでみたいと思います。	新潟県立近代美術館 講堂
	14:00～15:30	松矢 国憲（新潟県立近代美術館 学芸員）		要事前申込・先着順/35名
新津美	2月12日(土)	女優 岡田茉莉子 ～木下恵介監督作品を中心に～	戦後日本を代表する女優の一人である岡田茉莉子は、戦中から戦後にかけての6年間を新潟市で過ごしました。『二十四の瞳』の監督で知られる巨匠木下恵介による岡田茉莉子主演作を中心に、映画女優としての彼女の魅力に迫ります。	新潟市新津美術館 1階レクチャールーム
	14:00～15:30	渡邊 由里（新潟市新津美術館 学芸員）		申込不要/35名
近代美	2月19日(土)	1920年代の美術	1920年代は、関東大震災が一つの契機となり、日本の社会全体が大きく変貌していった時代でした。欧米では第一次世界大戦が終結し、享乐的な都市文化が開花していく時代を迎えます。当時の社会背景を重ね合わせながら国内外の作品をご紹介します。	新潟県立近代美術館 講堂
	14:00～15:30	平石 昌子（新潟県立近代美術館 学芸員）		要事前申込・先着順/35名
新津美	2月26日(土)	描かれた子どもたち ～西洋美術編～	18世紀にJ.J.ルソーが子どもを「発見」するまで、子どもは小さな大人と見做されていたといいますが、美術の世界ではどうだったのでしょうか。古代ギリシャの陶器画から中世の聖母子像、ルネサンスのブッロー、近代から現代まで。子ども像の変遷を辿ります。	新潟市新津美術館 1階レクチャールーム
	14:00～15:30	山岸 亜友美（新潟市新津美術館 学芸員）		申込不要/35名
近代美	3月5日(土)	大光コレクションでみる大正の洋画	かつて長岡にあった「大光コレクション」には、近代洋画の歴史を通覧できる充実した作品がそろっていました。大光コレクションの作品から、岸田劉生や萬鉄五郎など当館が所蔵する大正の洋画を紹介します。 ※近代美術館で開催します。	新潟県立近代美術館 講堂
	14:00～15:30	松本 奈穂子（新潟県立万代島美術館 学芸員）		要事前申込・先着順/35名
新津美	3月6日(日)	彫刻家・三木俊治と新潟の作家たち	三木俊治（みき・としはる／1945-）は、東京造形大学で教鞭を執り後進指導に努めながら、制作に励んだ彫刻家です。自身が収集し授業で活用した作品の中には、他作家の作品も見られました。三木が集めた作品の中から、岩野勇三（いわの・ゆうぞう／1931-87）など新潟ゆかりの作家についてご紹介します。	新潟市新津美術館 1階レクチャールーム
	14:00～15:30	奥村 真名美（新潟市新津美術館 学芸員）		申込不要/35名
新潟市美	3月19日(土)	障がい者アートあれやこれや	障がいのある人の芸術活動に、近年関心が高まっています。一方でアール・ブリュット、アウトサイダー・アートなど、さまざまな用語が使われ、わかりにくい状況もあります。歴史的に振り返りながら、いまの障がい者アートをとりまく現状についてお話しします。	新潟市美術館 2階講堂
	14:00～15:30	前山 裕司（新潟市美術館 館長）		申込不要/50名